

自宅でポート抜針をする患者さんへ

携帯型持続注入ポンプ内の風船が筒状になりましたら、抜針のタイミングです
およそ2日間で薬剤が入りきる予定です

必要な物品を準備します

【病院でお渡しするもの】

- 手袋
- ヘパフラッシュシリンジ
- 消毒用アルコール綿
- チャック付ビニール袋
- 保護シート
- 絆創膏

【患者さん自身で準備していただくもの】

- ふた付き容器*毎回使い捨てしましょう
(例：空瓶・針が突き抜けない程度の厚めのプラスチック容器)



針を抜く前に、お薬を入れます

- 1.石鹸を使用して手を洗い、手袋を装着します
- 2.ポンプと針までの間にあるクリップを『パチッ』と音がするまで止めます



クリップ

*クリップの色・数は変更となる可能性があります

- 3.ポンプと針の接続部を時計回りと反対方向に回しながら外します



- 4.外したインフューザーポンプはチャック付ビニール袋に入れます
- 5.ヘパフラッシュシリンジのキャップを時計回りに回しながら外します

- 6.ヘパフラッシュシリンジを両手で持ち、先端を上に向けてシリンジの内筒を一度引きます。
次にシリンジを押して液体を一滴出し、シリンジの中の空気を抜きます



- 7.プラグ接続の下に保護シートを敷き、消毒用アルコール綿で、プラグ接続入り口の緑色の部分を中心に2回拭きます。アルコール綿は2枚入っています



- 8.ヘパフラッシュシリンジを、時計回りに接続して、クリップを開放します

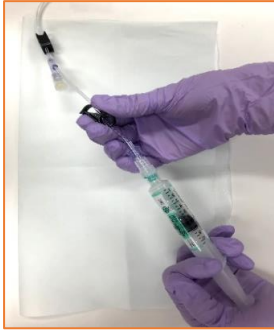


9. 「押して・止めて・押して・止めて…」とリズムをつけながら注入します



2めもり入れたら止める、
また入れる、
を繰り返します。
残り2目盛りくらいで止めます

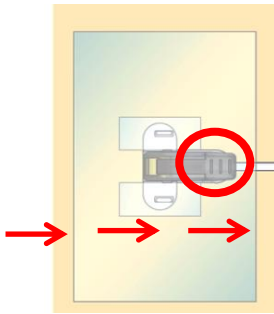
10. 注入後、**シリンジを押ししたまま**、クリップを、**『パチッ』と音がするまで止めます**



片手で注入しながら、
もう一方の手でクリップを止めます

針を抜く ~ご自身で抜く場合は、鏡を用いて行ってください~

1. 抜いた針を入れる容器を、蓋を開けた状態で、手元近くに準備します
2. 固定しているテープを、針が抜けないように押さえながら、ゆっくり剥がします



→方向にフィルムドレッシングをはがしてください

※逆方向からはがすと、**○部分を巻き込んで、ロックが解除される可能性があるのでご注意ください**

3. 利き手でない方の親指と人差し指で土台が動かないように抑え、もう片方の手で把持部を持ち、ロックを外します。



4. 利き手で把持部を**垂直に『カチッ』と音がするまで**引いてください（斜め引き抜き×）



※『カチッ』と音を確認できると、針が安全に収納・抜針されたことを示します

5. 抜針した針を蓋付きの容器に入れます

6. 抜針した部分に絆創膏を貼ります

※針を入れた容器は蓋をしっかりと閉めます。そのほかの物品はチャック付きビニール袋に入れ、しっかりと閉めます。針の容器とビニール袋は次回治療日にお持ちください。**医療廃棄物なので、家では捨てないでください**

